

No.	A06
タイトル	大都市圏における BCP 対応自立分散エネルギー供給システム導入検討
所属・名前	早稲田大学 堀 英祐
キーワード	① 自立分散型エネルギー供給システム ② 中圧ガス管 ③ BCD
<p>2014 年 4 月 11 日に東日本大震災発生後最初の改定となる「エネルギー基本計画（第 4 次）」が閣議決定され、同計画において自立分散型のコージェネレーションは、地球温暖化対策や省エネルギー性の観点はもとより、電力需要ピークの緩和、電源構成の多様化・分散化、強靱性を有するエネルギー源と位置づけられたほか、発電する電気の取引円滑化や導入支援策の推進など電力自由化に向けた方向性が示された。</p> <p>一方、首都直下型地震や南海トラフ地震による被害想定から、被害が予想される地域の安全安心の確保が重要な課題となっている。とりわけ地震・津波等の大規模な災害が危惧される大都市圏では、自立性、機能持続性を有する「BCP 対応自立分散エネルギー供給システム」の導入が求められていることから、本研究では、東京都板橋区、大阪市船場地区、名古屋駅周辺地区をモデルとして取り上げ、その導入可能性の検討を行った。</p>	